

ふれあいウェーブ講演会

子どものもつ知恵と勇気を考える

1月30日(日)、健康いきいきセンターでふれあいウェーブ講演会が開かれ、講師の高畑勲氏は「あまりにもリアルで丁寧な最近の日本アニメは、本当に子どもたちに豊かな想像力を培ってきたらどうか」と問い掛けました。

上映された映画「キリクと魔女」はアフリカを舞台にしたフランスのアニメ映画です。主人公は「なぜ、魔女カラバは意地悪なの？」という疑問を持ち、「たつて、魔女だから」という答えでは納得できずに考えま

憎しみと偏見、戦いと救済、家族と集落の絆、人間の幸せなど様々なテーマを織り交ぜたこの映画を観た180人の参加者は、子どもたちだけでなく大人たちも想像力をかき立てられました。



▲アニメ映画監督の高畑氏

ゆめづくり塾活動報告

わくわく人権塾 朗読劇発表

わくわく人権塾は身近な人権をテーマに、まちづくりに関する研究



▲とてもわかりやすい劇でした

活動をしています。

2月5日(土)、中央公民館で開催された第27回播磨同協研究大会の中で、朗読劇を発表しました。

塚崎塾長は「今まで活動してきた一部分の発表でしたが、同じ活動を進める仲間皆さんに聞いていただき光栄です。塾全員の努力に感謝します」また、塾生の神吉さんは「シナリオ、舞台道具などすべて手作りで時間を費やしましたが、仲間と共に発表した達成感は充実した幸せいっぱい気分です」と話されました。

播磨町ロードレース大会598人が快走

この季節には珍しく、風のない穏やかな日となった1月23日(日)、恒例の播磨町ロードレース大会が開催されました。町内外から集まったたくさんの走者は年代別に分かれて、思い思いの目標タイムを目指して総合体育館をスタートし、新島内コースを走りました。

小中学生の部では、沿道からひととき大きな声援が飛び交い、一般の部は、ゲストランナーの寺田恵選手や西脇工業高校・須磨学園高校からの招待選手と共に走り、ファミリーの部ではゲストの森脇健児さんとなごやかに走ることができ、各部門とも盛り上がった大会となりました。



▲招待選手と共に一般男子の部スタート



▲播磨太鼓の勇壮な応援



▲「どうだった?」



▲森脇健児さんと一緒に

ゆめづくり塾活動報告 文化ネットワークはりま塾

震災10周年記念ゴスペル&ジャズコンサート

文化ネットワークはりま塾は、文化を通じ心豊かに、感動と愛する事ができるまちづくりに目指して活動中です。

1月23日(日)、中央公民館にて、鎮魂の祈りを込めてゴスペル&ジャズコンサートを開催しました。第一部は雨宮千晶さんとゴスペル隊の心に響く歌声で幕が開き、第二部の桂南光さんと河田健さんのほのほのジャズトーク&ライブでは楽しいお話とジャズで大変盛り上がりしました。最後には塾で結成した40人のゴスペル隊「はりまスパローズ」が雨宮さんと歌う姿は圧巻で、観客も一つとなって、手拍子で盛りあげました。



▲感激しました

ゆめづくり塾活動報告 3世代を紡ぐ元帰塾

漢字を見直す〜漢字検定にチャレンジ〜

3世代を紡ぐ元帰塾は、古き良き日本文化を見直し、親子の絆や3世代で学ぶ楽しさを分かち合おうと活動しています。

漢字検定を推奨した理由を長尾塾長に聞くと、「最近、国語力の低下が懸念されていますが、漢字はその基礎と考えています。特に親子や3世代で共に学んで欲しい」と思い、受付窓口となるために日本漢字能力検定協会に申請をしました。今回家族で2級、3級、5級に合格された方々があり、とてもうれしく思います」と話されました。



▲親子でそば打ちにチャレンジ

他にも、竹とんぼや紙飛行機を家族で作ったり、親子でそばを作ったりして精力的に活動しています。



このコーナーに登場してくださる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画調整課

全日本リトル野球協会リトルリーグ関西連盟所属 兵庫播磨リトルリーグ

会長 大村 節二さん

チームのモットーは??

「野球を始めるのなら、硬式に」と、入会した人はばかりですが、体がまだ子どもなので、けがや故障がないようにフォームなどに気を付けながら、基礎からじっくりと練習しています。

チームワークを大切にして強い心と体を作り、目指すのはやはり「日本一」世界一のチームです。

楽々CHUNDO

リトルリーグはアメリカ発足ということで、4月スタートではなく9月スタートになります。

今季初めての公式戦2杯が11月にあり、オールスターチームが優勝、マイナーチームが3位入賞という成績でした。



▲夢は大きく世界一だ!

練習・試合など

播磨南中学校の北側にあるグラウンドなどで、毎週土・日、祝日、午前9時から午後4時ごろまで、夏は午後5時ごろまで練習しています。月に1〜2回、練習試合に行ったり来たりもしています。公式戦は1年に4回くらいあり、ほかに年数回の記念大会があります。

せっかく播磨町に正式な硬式野球チームがあるのですから、興味のある人はぜひ、見学に来て欲しいです。